

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月14日

【四半期会計期間】 第34期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社まんだらけ

【英訳名】 MANDARAKE INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 古川 益蔵

【本店の所在の場所】 東京都中野区中野五丁目52番15号

【電話番号】 03(3228)0007(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 川代 浩志

【最寄りの連絡場所】 東京都中野区中野五丁目52番15号

【電話番号】 03(3228)0007(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 川代 浩志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第33期 第3四半期累計期間	第34期 第3四半期累計期間	第33期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(千円)	7,621,474	6,633,225	10,059,003
経常利益	(千円)	808,543	126,599	847,732
四半期(当期)純利益	(千円)	534,829	62,053	564,034
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	837,440	837,440	837,440
発行済株式総数	(株)	7,236,000	7,236,000	7,236,000
純資産額	(千円)	7,280,871	7,365,435	7,310,089
総資産額	(千円)	15,452,053	16,164,924	15,638,298
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	80.73	9.37	85.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			1.00
自己資本比率	(%)	47.12	45.56	46.74

回次		第33期 第3四半期会計期間	第34期 第3四半期会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額()	(円)	42.27	6.78

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は発生しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間のわが国経済は、長引く米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染症の影響から経済活動は落ち込み、厳しい状況となりました。

当社が属する中古商品業界におきましては、消費税率の引き上げに対する消費者の節約志向や高まる生活防衛意識によって中古商品全般の需要は維持されておりますが、緊急事態宣言に伴い消費者の外出は控えられ、また各種イベントの自粛などで消費者心理も低下し、先行き不透明な経営環境に陥っております。

このような事業環境のもと、当社はこれまでの方針の維持に努め、最新の商品からマニアックな希少品まで、新たな商材を掘り起こし、その市場の創出と定着を図りながら、幅広い品揃えをさらに充実させております。当社が取り扱う商品は、買い取りの告知を通じて世間の関心を集めており、その多種多様な商品を店頭及びWEB上で全世界に向けて紹介いたしますことで、コレクターはもとより一般のお客様の潜在的ニーズを引き出し、営業活動の拡大を推進してまいりました。

販売面におきましては、外出自粛などによる「巣ごもり消費」拡大に合わせ通信販売を強化しており、新たな商品の紹介に加え、既に展開済みの商品は補充を欠かさずに、通信販売の拠点であるまんだらけSAHRA（サーラ）ほか、全店舗で多数のお客様からご注文をいただいております。また、12月に秋葉原でソフビ専門店「まんだらけCoCoo（コクウ）」、池袋でTOY専門店「まんだらけ那由多（ナユタ）」を新規に開店しており、新型コロナウイルス感染症の対策として4月、5月に当社の一部店舗の休店、営業面積縮小を行いましたものの、店頭販売全体の落ち込みを補完する体制構築に効果を発揮いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,633百万円（前年同四半期比12.9%減）、営業利益は140百万円（前年同四半期比83.2%減）、経常利益は126百万円（前年同四半期比84.3%減）、四半期純利益は62百万円（前年同四半期比88.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して526百万円増加し、16,164百万円となりました。これは、主に現金及び預金、たな卸資産の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して471百万円増加し、8,799百万円となりました。これは、主に短期借入金の借入れによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金の増加55百万円により、7,365百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,628,000
計	20,628,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,236,000	7,236,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 100株であります。
計	7,236,000	7,236,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		7,236,000		837,440		1,117,380

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 611,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,620,800	66,208	
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	7,236,000		
総株主の議決権		66,208	

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社まんだらけ	東京都中野区中野5-52-15	611,200		611,200	8.44
計		611,200		611,200	8.44

(注) 当第3四半期会計期間末日現在における当社所有の自己株式は611,238株であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は次のとおりであります。

(1) 新任役員

役職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)	就任年月日
監査役	大工原 幸人	1957年3月23日	1980年4月 三井物産株式会社入社 2010年10月 株式会社ディービーエス 研究所代表取締役就任 2020年1月 (現任) 当社監査役(現任)	(注) 2		2020年1月22日

(注) 1. 監査役 大工原幸人は、社外監査役であります。

2. 前任者の辞任に伴う就任であるため、当社定款の規定により、前任者の任期満了の時までであります。なお、前任者の任期は、2017年12月22日開催の定時株主総会終結の時から4年間であります。

(2) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
監査役	中村 尋人	2020年1月22日

(3) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性13名 女性1名 (役員のうち女性の比率7.1%)

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人ハイビスカスにより四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,092	931,983
受取手形及び売掛金	243,943	265,194
商品及び製品	8,073,056	8,251,437
仕掛品	2,145	4,979
原材料及び貯蔵品	23,623	22,152
前払費用	61,274	51,897
未収入金	17,391	13,177
未収還付法人税等	-	4,008
未収消費税等	2,647	5,737
その他	38,852	51,087
流動資産合計	9,122,026	9,601,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,282,803	5,335,790
減価償却累計額	2,157,537	2,273,303
建物及び構築物(純額)	3,125,266	3,062,487
土地	2,216,136	2,216,136
その他	1,124,927	1,207,982
減価償却累計額	747,048	807,361
その他(純額)	377,879	400,621
有形固定資産合計	5,719,282	5,679,244
無形固定資産	9,211	14,627
投資その他の資産		
投資有価証券	577	459
出資金	800	800
長期貸付金	16,000	16,000
長期前払費用	13,333	5,923
繰延税金資産	478,968	513,219
差入保証金	294,098	348,993
貸倒引当金	16,000	16,000
投資その他の資産合計	787,777	869,395
固定資産合計	6,516,271	6,563,268
資産合計	15,638,298	16,164,924

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,459	16,351
短期借入金	1,371,000	2,607,500
1年内返済予定の長期借入金	1,855,914	1,792,542
1年内償還予定の社債	91,000	91,000
未払金	143,244	151,628
未払費用	53,820	50,301
未払法人税等	180,705	102,307
前受金	21,011	51,877
預り金	32,487	33,210
賞与引当金	49,715	86,805
株主優待引当金	61,514	21,661
流動負債合計	3,874,871	5,005,184
固定負債		
社債	117,000	71,500
長期借入金	3,532,883	2,884,248
退職給付引当金	744,454	774,529
資産除去債務	58,999	64,026
固定負債合計	4,453,337	3,794,303
負債合計	8,328,209	8,799,488

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金		
資本準備金	1,117,380	1,117,380
資本剰余金合計	1,117,380	1,117,380
利益剰余金		
利益準備金	3,000	3,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	333	333
別途積立金	2,018,000	2,218,000
繰越利益剰余金	3,466,693	3,322,121
利益剰余金合計	5,488,026	5,543,454
自己株式	132,879	132,879
株主資本合計	7,309,967	7,365,395
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122	40
評価・換算差額等合計	122	40
純資産合計	7,310,089	7,365,435
負債純資産合計	15,638,298	16,164,924

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,621,474	6,633,225
売上原価	3,370,146	3,134,569
売上総利益	4,251,328	3,498,655
販売費及び一般管理費	3,411,407	3,358,155
営業利益	839,920	140,500
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	29	29
受取手数料	1,014	952
受取保険金	-	19,415
その他	4,819	3,803
営業外収益合計	5,865	24,202
営業外費用		
支払利息	29,766	32,167
社債利息	4,056	2,755
為替差損	162	22
その他	3,257	3,157
営業外費用合計	37,242	38,103
経常利益	808,543	126,599
特別損失		
有形固定資産除却損	213	0
特別損失合計	213	0
税引前四半期純利益	808,329	126,599
法人税、住民税及び事業税	292,650	98,760
法人税等調整額	19,150	34,214
法人税等合計	273,499	64,546
四半期純利益	534,829	62,053

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社では、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくとも一定期間継続するという仮定に基づき、固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
	(千円)	(千円)
減価償却費	184,669	181,235

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月21日 定時株主総会	普通株式	6,624	1.00	2018年9月30日	2018年12月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月20日 定時株主総会	普通株式	6,624	1.00	2019年9月30日	2019年12月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、中古品販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	80円73銭	9円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	534,829	62,053
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	534,829	62,053
普通株式の期中平均株式数(株)	6,624,762	6,624,762

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月13日

株式会社まんだらけ
取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指定社員 公認会計士 森 崎 恆 平 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 丸 木 章 道 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社まんだらけの2019年10月1日から2020年9月30日までの第34期事業年度の第3四半期会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社まんだらけの2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。